

# スギカズラ

*Lycopodium annotinum* L.  
ヒカゲノカズラ科

【福井県カテゴリー】 新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】 —

## 選定理由

常緑性のシダ類。亜高山帯以上に生育するが、産地局限で登山道に接しているため、採取圧のおそれがある。絶滅危惧Ⅱ類とする。

## 分 布

全国分布は北海道から本州（中部地方以北）。県内分布は奥越に生育。

## 種の特徴

亜高山帯に生育。茎は長く地上をはい、まばらに分岐し直立した小枝を出す。葉は線上披針形で辺には鋸歯をもつ。孢子嚢穂は小枝の先に頂生。孢子葉は広卵形、鋭尖頭。特にハイマツ林内に生育。

## 生育を脅かす要因

採取圧、植生遷移。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）  
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# アスヒカズラ

*Lycopodium complanatum* L.  
ヒカゲノカズラ科

【福井県カテゴリー】 新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】 —

## 選定理由

山地の草原に生育する常緑性のシダで、県内での確認地点は4箇所であるが、現在確認できるのは1箇所のみである。多くの生育地では減少している。

## 分 布

全国分布は北海道、本州、四国。県内分布は大野市、勝山市。

## 種の特徴

常緑性の草本で、茎は地上をはい、分岐する。鱗片状の葉をまばらにつける。直立する茎は扇状に分岐する。葉は4列に圧着する。孢子嚢穂は3～10cmの長さの柄に1～5個をつける。

## 生育を脅かす要因

登山道近くの植物は踏みつけられたり、採取されたりして減少している。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1990）、  
中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

# タカネヒカゲノカズラ

*Lycopodium sitchense* Rupr. var. *nikoense* (Franch. et Sav.) Takeda  
ヒカゲノカズラ科

【福井県カテゴリー】 新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】 —

## 選定理由

県内での生育地は2箇所、全て亜高山帯～高山帯に生育する希産種である。登山者の増加による踏みつけや道路維持のための草刈りで、減少しつつある。

## 分 布

全国分布は北海道、本州、九州。県内分布は、大野市。

## 種の特徴

小型の常緑草本で、主軸は地上を長くはい、まばらに分岐する。側枝は斜上ないし直立して数回分岐する。茎には葉が5列に並び、線状披針形である。孢子嚢穂は長く伸びた小枝に1～2頂生する。

## 生育を脅かす要因

登山者の増加による踏みつけ、道路整備。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1990）、  
中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	